

# 麦の穂

第46号  
2013年6月  
NPO法人麦の会

題字：かまたみさ

〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町 17-1 TEL (FAX 兼) 022-299-1279

E-mail [muginokai@k5.dion.ne.jp](mailto:muginokai@k5.dion.ne.jp) <http://www.muginokai-koppe.com>

目次	麦の会総会報告	… P1~5
	新人紹介	佐藤ひとみ … P6
	ソレイユ祭り	阿部 央希 … P7
	ヘルパーさんとの日々	斎藤 七恵 … P8~P9
	新聞記事より	荒木 泰明 … P10
	あとがき	… P10

## 総会報告

第14回麦の会総会は、5月26日（日）、東部市民センターにて行ない、事業報告、決算、事業計画、予算とも承認されました。

麦の会でも寄付金の控除が認められる認定NPO法人を目指そうと昨年度は賛助会員の拡大を行いました。今年度具体的に動き出したいと思っています。

以下、事業報告の抜粋を載せます。これからもご支援をよろしく願います。  
(飯嶋 茂)

## 2012年度事業報告(抜粋)

震災後の混乱とその後の特需により激動の2011年を経て、2012年は通常をいかに取り戻すのが問われた1年だったと思います。

決算から言うと、117万の赤字となりました。特需からの落ち込みが大きか

ったことやスタッフの引継による人件費の増加、助成金の返還なども影響したと思います。

それでも、昨年から進めてきた障害メンバーとの雇用関係の締結は、5名増え、7人となるなどの前進もありました。

## 【1】就労継続支援B型「コッペ」の運営状況

### ①開設状況

開設日数は、247日／年、利用者延べ数は、3,193人となっています。ほぼ昨年と同様です。コッペの定員としては、20名。在籍は15名です。それを支えるスタッフは、常勤4名、パート6名です。それにコッペショップを支えるメンバーの方々、区役所販売等を手伝っていただけるボランティアの方々等に、コッペの運営に協力して頂きました。

### ②売り上げ

パンとクッキーの売り上げは、約2,500万／年（仕入れ販売300万を含む）、月平均208万となっています。震災特需で過去最高の売上を記録した2011年度の売り上げに比べ400万／年ダウンしました。落ち込みは、ある程度予想されたことですが、特に年明けの1月2月の売上が悪く、例年暑さで売り上げが落ち込む8月と合わせ何らかの対策が必要です。

といっても、震災前の2010年度の売上が2,000万でしたので、それに比べると売り上げは上がっています。震災を機に新しくつながりできたことが大きく影響しています。

今年度は地元の他団体との販売協力も進めました。

セルフ協働受注センターの仲介で、2012年11月1日～2013年1月10日までJR仙台駅1Fにて、ワゴン販売を行いました。他の事業所と共同で2か月以上の販売会を行ったのは初めてでした。爆発的に売れてわけではありませんが、確実に販売を確保することができました。なお、セルフ協働受注センターでは、仙台駅2Fコンコースにて、1月11日～14日までナイスハートバザール、2月4日（月）～2月14日までバレンタインフェアを行いました。

きょうされん宮城支部では、9月～10月、中央通にある東北ろっけんパークの2Fでの販売に取り組みました。こちらは残念ながら十分な売り上げは確保できませんでした。街の中にお店を持つことの難しさを実感させられました。

### ③訓練等給付費収入

2012年度は2,070万円となりました。前年度により60万ほど上がっています。人数、給付費の単価とも変わらずほぼ前年度並みとなりました。

なお、別途申請していた第2種作業施設等設置助成金につき、申請の条件の手違いを理由に

50万ほどの返還をすることになりました。

#### ④工賃

障害メンバーの給料は、最高で76,000円最低26,000円、平均約50,000円となり、初めて平均が5万となりました。前年より平均で5000円ほど上がっています。

#### ⑤コッペショップ

発送が増えたクッキーに対して、パンは震災の影響もあり卸先が減りました。そのためパンに関しては売上の中でもショップが重要な位置をしめています。春・秋のセールその他、バレンタイン・ホワイトデーセール等も行いました。クッキーでは、ハーフサイズの詰め合わせも作り、ホワイトデーでは好評でした。

パンクッキーとも新商品の開発ができず、課題が残りました。

#### ⑥ホームページの作成

一昨年新しくしたホームページは、以前に比べれば、問い合わせも多くなりました。より一層の活用については定期的な更新などまだまだ検討が必要です。しかし、作業の手がそこまで回っていないのが現状です。

#### ⑦研修

成長分野人材育成奨励金を活用し神戸のプラスリジョンの福井さんを講師に、衛生管理、品質管理、生産管理等の研修会を行いました。(参加した事業所は、フリーソレイユ・すまいる作業所・グループゆう・仙台もぐらの家・わはわ遠見塚・わはわ美里・コッペ)

また、商品力向上にむけた研修会にも参加しました。それぞれ「あがいんセット」「パンダセット」といった他の事業所とのコラボ商品もできました。これらについては今後に向けた販売先の確保が課題になっています。

#### ⑧放射能検査

ヘルシーハットみんなをつなぐ検査室に1~2か月に2種類ずつ検査に出しました。検出限界は10ベクレルでいずれも不検出となっています。小麦の切り替え時期には、検出限界がさらに低い検査にも出して安全性を確かめています。

今後も定期的に検査に出し、安全性を確かめます。

原発に対しては、食品の安全という面でも反対の運動に協力していきます。

#### ⑨レクリエーション

9月28日(金)・29日(土)に、久しぶりに一泊旅行にいきました。場所は、横堀温泉・紫雲閣(秋田県湯沢市)。夜のカラオケから翌日の秋田ふるさと村まで、みんな楽しんでいました。

他には、今年もコッペも加盟している平成商興会の食事処「いちえ」さんから食事会のご招待をいただきました。また、楽天ゴールデンイーグルスの試合のご招待を今年度もいただきました。

## 【2】雇用関係について

現在のコッペの収支では、全員と雇用関係を結ぶことは難しいため、就労継続支援B型のままで、出来る人から雇用を結ぼうという方向で今年も進めました。

条件を改めて確認します。以下の満たす人で、希望する人と雇用関係を結ぶことにしました。

- ① 8年目以上
- ② 20時間以上の勤務時間
- ③ 最低賃金の減額申請はする
- ④ 社会保険はかけない
- ⑤ 中退金は6000円でかける

その結果、新しく5名と新たに雇用関係を結びました。

## 【3】理事会

計10回行いました。コッペでは、みんなで運営を考えていこうというスタンスで、理事

会には都合がつく限りみんなに参加してもらっています。今年度の理事会でも、かなり白熱した議論ができたのではないかと思います。しかし、最近参加する人が限られてきています。出来るだけ多くの人々の参加をお願いします。

## 【4】会員(3/31現在)

正会員 28名 賛助会員 88名 計 79名 (正会員2名減、賛助会員39名増)

税の優遇措置がとられる認定NPO法人の基準が緩和されました。その条件の一つである賛助会員の増加をお願いした結果、大幅に賛助会員が増えました。目安となる100名にもう少しです。会員皆さんの声掛けを改めてお願いしますし、コッペ通っている障害メンバーは全員賛助会員になることも再度お願いします。

なお、サポーター会員 39 名（1 名増）です。

## 【5】社会教育の推進

会報「麦の穂」の発行 計 3 回 それぞれ 170 部前後

2012 年 6 月 11 月 2012 年 3 月

ホームページでも見るができます。

賛助会員の確保のためにも会報は大切です。しっかり定期的に発行したいと思えます。

## 【6】生活支援

就労の事だけではなく、生活支援についても考えたいとの声を受け、まずは、コッペの中でヘルパーを利用している人のお話を聞くことから始めました。

まずはそれぞれの状況に合わせて利用申請を出来る人は申請し、実際にサービスを利用してみる。今度も理事会もしくは別個時間を取って勉強会をしていくことになりました。コッペとして生活支援に取り組むかは、今後の検討課題です。

生活支援ということではないですが、災害時の対応につき、仙台市の災害時要援護者登録制度のパンフレットを検討し、個人情報の問題点も考慮した上で、個人の判断で各自自治体に登録することにしました。

## 【7】NPO法人フルハウスとの連携

コッペの直接の運営母体は麦の会であるが、障害者自立支援法上は、NPO法人フルハウスが運営する形になっており、訓練等給付もフルハウスを通じて入ってくる仕組みとなっています。

当然のことながら、NPO法人フルハウスを構成するフリースペースソレイユとフルハウスグループの一員として協力しています。

ソレイユは、震災で被害を受けた建物の建て直しをしました。民間助成金が 1,100 万、寄付金 400 万、借入 800 万、総費用は、2,300 万ほどとなりました。また、国の基盤整備事業を活用し生活介護事業を行う建物も改修しました。

ソレイユとは今後も月 1 回のフルハウスの会議の他、ソレイユ祭りへの参加、合同学習会の開催、互いの商品の販売等、今後も連携を深めていきたいと思えます。

# 自己紹介

くまモン  
↓  
(笑)



名前... 佐藤 ひとみ

よろしく~

生年月日... (1978年 9月 20日)

好きなこと... 娘(小4)と一緒に買い物をして、お茶したり、すること。  
(いつもバタバタくっついてます)

コッペで働き始めて2ヶ月が過ぎました。

コッペで過ごすことで、自分も含め、

娘にも様々なことを学び、伝えていきたいと思いました。

失敗ばかりでご迷惑ばかりかけて  
しまい毎日が勉強と反省ですが  
精一杯がんばっています!!

# ソレイユ祭り

阿部 央希

ソレイユのメンバーは「さるほど手のひらを太陽に」歌を歌っていました。

とてもすばらしい歌声がとてもよかったと思います。上手でした。さすがソレイユ

コッペの販売「さわやか気持ちのっはっい」パンとクッキーの売り方をやりました。

アピールは声だして元気張って販売もうまくできました。一番大事な事はきちんと販売です。コッペのために販売して売り上げをあげたいです。

「コッペ、すまいる、ソレイユ」はフルハウスとして元気張って下さい。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

☆ ヘルパーさんとの日々 ☆

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

私はヘルパーさんと初めて、アンパンマンミュージアムに行きました。わくわく、ドキドキしながら、中に入って行きました。

そこには、アンパンマンのぬいぐるみや風船やTシャツもありました。

私は、ぬいぐるみキーホルダーとくつ下を買いました。

とても嬉しかったです。

それから、アンパンマンショーを

見ました。それに、バイキンマンが

出てきて、観客の所を回って、私の所

に来たらバイキンマンが私のかたをポンポン

としてくれました。すご〜い。嬉しかったです。

嬉しさのあまり大興奮でした。

私もバイキンマンのせなかをポンポンと 

してあげました。😊😊  
嬉しかったです。

その後もずっと楽しかったです。  
一日中とっても楽しく過ごせて良かったです。



斎藤七恵

# 工賃原則無料 不用品の再利用も

# おもちゃ修理 生き生き

## 仙台のシルバー世代奮闘

壊れたおもちゃを工賃無料で修理するシルバークラブ「おもちゃ病院チャチャ」が、仙台市内の公共施設を拠点に活動している。部品代をなるべく安く抑えるため、不用になったおもちゃを収集、モーターなどの部品を取り出して再利用するなど、「エコ」な活動にも取り組む。

会員は市民センターの印刷機械のエンジニアだ。おもちゃドクター養成講座。ほかの会員もハンズ出身で、2007年4月活動を開始。50代の経験がある人など職人会社員から70代のシルバードライ。荒木代表は「在り世代まで10人が休日を中心に月8回、市シルバースタートや各区の市民センターで修理を受け付ける。グループ名は書留と話す。

「おもちゃのチャチャ」から取った。修理を依頼されるのは代表の荒木泰明さん。千件近くのおもちゃを再生している計算になる。(73)

# 「子どもの笑顔 楽しみ」



子どもたちから預かったおもちゃを修理する「チャチャチャ」のドクターたち  
 仙台市青葉区のシルバーセンター

修理が多いのは、おもちゃのピアノのへこんだ部分を補強し接触が元通りになるようにしたり、自動車や電車の内部のモーターを分解して動くように修復したりするなど、素人では手を付けにくい作業を担う。受け付けの際には「診察申込書」として病院のカルテのような書類に故障の「症状」を詳しく記入、故障部分や修理した内容を保存する仕組みも。

工賃は原則無料だが、部品交換の必要がある場合、小型モーターなら100円程度の実費が掛かっています。荒木さんらは依頼者の負担をできるだけ軽減しようと公共施設などで不用になったおもちゃを引き取り、モーターなど使える部品を取り出してストックしている。

荒木代表は修理を依頼された市民の自宅へ出張し、陶器製フランス人形のオルゴール約70個をすべて直したことも。

「子どもに直ったおもちゃを渡す時に見せてくれる笑顔が楽しみでやっている」と荒木代表。数十年前直らなかつた地球儀を修理できた時は、依頼主の家族全員が涙を流して喜んでくれたこともあったという。

活動日時や修理会場などについての連絡先は事務局の鎌田さん022(255)1570。

いつもコップの販売を手伝って頂いている、荒木泰明さん。(荒木パパと呼ばれています)

おもちゃドクターとして日々あちこち出張して多忙なドクターです。

壊れたおもちゃと奮闘する生き生きシルバー名医です！